

令和5年度

事業実績報告書

事業所名	母子生活支援施設ブルーインター			職名	人数	備考
施設長・管理者名	施設長 八木正美			施設長	1名	※内1名は業務主任兼母子支援員 ※内1名は事務員 ※2名ともパート
実施事業	母子生活支援施設			母子支援員	3名	
開設年月日	平成15年4月1日			少年指導員兼事務員	4名	
所在地	鳥取県倉吉市福守町407-14			保育士	1名	
正規職員(総合職)数	6名			心理療法担当職員	1名	
正規職員(一般職)数	4名			調理員等	1名	
準職員数	フルタイム 0名 : パートタイム 0名			夜間宿直専門員	2名	
契約職員数	フルタイム 1名 : パートタイム 2名					
定員	30世帯	実績利用者数22世帯/日	充足率 73%	計	13名	
項目	事業計画			事業実績		
1 基本方針	児童福祉法の、「全て国民は、児童が良好な環境において生まれ、かつ、社会のあらゆる分野において、児童の年齢及び発達の程度に応じて、その意見が尊重され、その最善の利益が優先して考慮され、心身ともに健やかに育成されるように努めなければならない」の規定にのっとり支援する。母子で入所できる児童福祉施設として、児童の心身共に健全な育成を母と共に目指す。様々な事情で困難な環境に陥っている母子が、生活力と、精神力を取り戻し、自信をもって、力強く地域で自立していけるように、思いやりと感謝の心で支援する。					
2 運営	一般的・常識的な「日常」が、入所世帯の「日常」とは限らないということを念頭に置き、表面的な見方ではなく、慎重に、隠れた問題を探り、根本的な解決を目指した、思いやりで満ちた関わりを心がけることで、母子が笑顔と喜びに満ちた、本当の意味での自立が出来るよう努める。					
3 主な事業内容	(1)施設整備計画			(1)施設整備実績		
(1)施設整備事業	運動広場舗装整備工事 他	7,233千円		運動広場舗装整備工事 他	7,628千円	
(2)事業活動	(2)事業活動 ◎お母さんと共に ①惣菜DAY ②リフレッシュ保育 ③おかあさんといっしょ ④あったまろうDAY ⑤Mama chill (ママチル)			(2)事業活動 ◎お母さんと共に ①毎月1回×12ヶ月 一食100円で2品を提供し、家事負担を軽減することに繋がった。子ども達も食べやすい野菜を沢山使った料理を提供し、9割以上のご家庭が利用された。 ②毎月第4日曜日10時～16時、年間を通して実施した。母親のリフレッシュの時間を提供し、子育ての負担軽減に繋がった。また、子ども達の様子を確認することで、虐待防止にも繋がった。 ③母子で工作に取り組み思い出の作品を作った。親子での関わりを持つ時間を提供するため、一緒にクリスマスケーキを作ったり、行事月には作品を作り楽しんだ。また、子どもの成長アルバムをお母さんと職員が作成し、成長を一緒に喜んだ。 ④家族と一緒に過ごす時間を提供することで、家族が心通わせあたたまる時間を設けた。誕生日や高校の合格祝い、また忙しい日に利用された。盛り付けをして居室で家族写真を撮影し思い出の1枚とし母子関係構築の一助となった。 ⑤母親のリフレッシュや気分転換、又は母親同士の交流や親睦の場として実施。子ども達には朝食の大切さを伝えるとともに、調理への興味や意欲を引き出し、「自分でも朝食を用意できる力」を身につける機会となった。		

3 主な事業内容
(2) 事業活動

◎子どもたちと共に

①学童保育

(セカンドステップ)

(子どもクラブ)

(土に親しむ会)

②子ども食堂&手作りおやつ

③すずらん教室

◎施設と共に

①ブルインファーム

②花いっぱい運動

③子育て応援団

◎地域と共に

(1) つながるプロジェクト(地域交流・退所カード・退所家庭とつながる)

①地域交流

②退所カードでつながる

◎子どもたちと共に

①春休み、夏休み、冬休みを中心に学童保育を実施した。午前9時～午後2時まで児童を1階共有スペースで保育し、学習支援や各種行事を通して、協力すること、対人関係を大切にすること、並びに自分自身も大切にすることを養い、心も成長する場を提供した。また、午後2時～午後6時までは見守り保育を行い、児童の安全確保と信頼関係構築に繋がった。

・コミュニケーションスキルを身に付ける為に、セカンドステップも年間通して行った。
・毎月第1土曜日に子どもクラブを実施し、子どもたちの考える場とアドボカシーの場を提供した。
※アドボカシーとは(子どもの)声を聴き、(子どもが)意見を表明する支援を行う活動

・他の児童養護施設の職員及びご利用者様とサツマイモの栽培を通して交流を行った。収穫したサツマイモは様々な行事で提供した。ご利用者様・入所者様・地域の方々にも提供した。

②子ども達の食事確保と、仕事から帰ってきた母親の家事の時間を減らし、その分子どもと関われる時間を増やしてほしいという願いから実施した。また、繋がるプロジェクトとタイアップし、近隣退所家庭のアフターフォローとして手作り弁当を配り、現状把握に努めた。

・毎月2回、手作りおやつを提供した。児童も楽しみに帰ってくるようになり、おやつでお腹が満たされ児童間トラブルが減った。

③2グループに分かれて、集会室にて学習支援を行った。提供したドリルや宿題に取り組む姿があり学習定着に繋がった。外部講師(アルバイト)を雇い、職員は見守りを行った。

◎施設と共に

①施設内で季節の野菜や花育て、子どもたちと育つ過程を学び、収穫の喜びを共に体験した。子どもの豊かな心を育みながら、施設周辺を華やかに彩り、入所者様や来訪者様を迎えた。

②施設内外の環境維持に努めた。玄関周り、お地蔵様付近のお花管理を季節に応じて行った。

③助産師等の外部講師を招き、専門的な知識を学んでいく機会を提供した。その学びを子育て等に生かしながら、家族の生活の安定に繋がった。

◎地域と共に

(1) つながるプロジェクト(地域交流・退所カード・退所家庭とつながる)

①地域との交流を大切にし、子ども達と地域のごみ拾いを行ったり、民生委員・児童委員の方々と花の苗を植えたり、ピザ作りを通して交流を図った。

②退所家庭の来訪は年々増加。電話でのアフター相談や個別での相談、訪問等も実施し、退所時には何か困った時は施設や各関係機関に繋がるように連絡先を明記したカードを作成し渡す事が出来た。

<p>3 主な事業内容 (2)事業活動</p>	<p>③退所家庭とつながる</p> <p>(2)ブルーインター広報</p>	<p>③進学や就職等で退所した児童には、メッセージカードと食材等の小包を送り、退所後も繋がりが途切れることのない様に工夫しながら関係を維持するように努めた。子ども食堂とタイアップし、アフターケアの一環として手作りのお弁当を配布。退所家庭の現状と退所後、地域での生活で困った事を把握し入所家庭への支援に役立てられるよう努めた。また、気軽に相談が出来る体制作りの強化を図った。</p> <p>(2)県内外の措置関係機関に母子生活支援施設の理解と周知を深める為に安全に空き状況及び施設の強みをPRし、実績につなげることができた。少しずつ認知度も上がり、日本助産師会より助成金を戴いた。</p>
<p>4 安全管理・衛生管理</p>	<p>①入所時と年に2回母子の健康診断を嘱託医により実施 ②年に2回母子の尿検査等実施 ③手作りおやつや惣菜デイ等の事業のため、職員の検便を実施 ④職員の健康診断を年1回実施 ⑤安全点検管理分担表に基づき点検を実施 ⑥大型遊具の点検を実施</p> <p>⑦感染症予防 ⑧車両点検と安全運転の実施</p>	<p>①管理簿に基づき、健康診断受診の徹底を図った。 ②回収日までに提出できた。 ③調理業務に携わる職員全員を対象に毎月実施した。 ④職員の健康診断に基づき、受診を促した。 ⑤安全管理分担表に基づき、点検を実施した。 ⑥月に2回点検を実施した。年に1回の遊具安全点検も実施した。また、遊具点検を行った際に、指摘のあった箇所の修繕を行った。 ⑦新型コロナウイルス感染予防をし、マスクの着用、手洗い、消毒を徹底した。 ⑧運転前後のアルコールチェックにより、酒気帯び運転を防止した。</p>
<p>5 防災・火災、救助体制</p>	<p>①消防設備の定期点検 ②隣接する施設との合同緊急避難訓練の実施 ③施設の避難訓練は月1回の実施を徹底</p>	<p>①10月と2月に消防用設備等(特殊消防用設備等)点検を実施した。内1回は点検結果報告書を消防署へ提出した。 ②役割分担の確認を行う中で、ブルーインターは自施設の役割以外には、他施設から避難された方の見守りを行った。 ③避難訓練は消火訓練も含め、毎月実施した。不審者対応の訓練の際には、実際に避難放送を流して警報ボタンを押し警備会社と連携した訓練を行った。消防署にも指導を受けながら避難訓練も実施したが、母親の参加する家庭と参加しない家庭が顕著となった。</p>
<p>6 職員の資質の向上と研修</p>	<p>①外部研修への積極的参加 ②法人内部研修への参加 ③施設内のOJT・職員研修の実施</p> <p>④資格取得の取り組み</p>	<p>①全国母子生活支援施設協議会中四国ブロック大会にて困難事例ケースの発表を行った。 ②経理研修・労務管理研修・階層別研修・Web研修等全て参加した。また、法人内Web研修に於いては職員2名が講師を務めた。 ③資料有り、無しの場合検討会を実施し、支援について職員全員で実践に繋がるプランを作成した。 ・心理士は精神科医のスーパーバイズを定期的に受け資質向上に努めた。 ・鳥取県児童福祉入所施設協議会施設訪問研修に参加し、情報共有とアドボカシーを学んだ。※アドボカシーとは(子どもの)声を聴き、(子どもが)意見を表明する支援を行う活動 ・母子支援員会議、子担当会議に臨床心理士と基幹的職員が同席することでスーパーバイズできる体制を整え、毎月2回の会議を行い、それぞれの支援経過及び今後の支援方法を検討した。 ④3名が国家資格等を目指し3名が国家資格(社会福祉士2・保育士1)を取得。</p>
<p>7 SDGSの取り組み</p>	<p>①古着・学用品のリサイクル活動</p> <p>②校区内のゴミ拾い</p>	<p>①ブルーインターリユースとして、施設内外から集めた古着を、年2回提供する場を設けた。退所家庭も招待し、50名以上の参加者で賑わった。 ・福祉の里文化祭では、SDGsに組み込み、施設内で集めた古着(リサイクル)や他機関から寄付された古着等を地域の方にも提供する場を設け、施設PRも行った。 ②校区内ゴミ拾いを小学生と共に行った。</p>

8 職員の健康維持・増進	①生活習慣病リスクチェックシートの実施 ②うつ状態セルフチェックシートの実施	①年2回実施した。 ②年1回実施した。 ・エゴグラム(心理検査)を実施し、自分の特性を知る事が出来た。
9 各種団体との連携と地域交流	①法人行事、施設行事を通じて積極的に地域と交流 ②地域の中にある関連機関との連携	①DVネットワーク会議に参加し、警察等も交えて事例の検討を行ったり制度の理解を深めた。児童相談所と病院(精神科)と施設が連携し、要保護児童対策地域協議会等で協議を重ねた。 ②保育園・各学校行事へ職員も参加させて頂き、子ども達の成長を共に喜ぶ機会を作った。 ・小鴨地区民生委員児童委員との交流を当施設で実施した。合同行事も計画した。一緒に花植え等を行い、地域の環境美化に取り組んだ。 ・市役所、児童相談所、各病院等とも適宜協議する機会を持てた。 ・保育園・各学校と定期的に情報交換を行った。 ・学童保育の行事の一環として、子ども達と通学路のゴミ拾いをした。 ・地域の方から野菜、企業の方から化粧品等、寄附をいただく機会が増えた。

季節・年間行事

施設名： 母子生活支援施設ブルーインター

実施月	行事計画	行事实績
令和5年 4月	【お母さんと共に】【子どもたちと共に】【施設と共に】 【地域と共に】を基本柱に【あったまろうDAY・惣菜DAY・リフレッシュ保育・お母さんと一緒・学童保育・セカンドステップ・すずらん教室・おやつ提供・ブルインファーム・花いっぱい運動・つながるプロジェクト・子育て応援団・ママチル】を実施…年間通して随時実施	各種事業の実施、カップケーキ作り(3日)、サンドイッチ作り(4日)、交通安全教室登校練習(5日)、お店屋さんごっこ(7日,11日)、総会及び創立記念を祝う会(9日)
5月	子どもクラブ、土に親しむ会、子ども食堂、母の日行事、こどもの日行事	各種事業の実施、朝食応援(3日,29日)、おかあさんといっしょ～小物作り～(4日)、子ども食堂(5日,29日)、インターGH交流会(5日)、子どもクラブ(6日)、土に親しむ会(13日)
6月	子どもクラブ、母との会	各種事業の実施、子どもクラブ(3日)、ヌン活(17日)、子育て応援(28日)、母との会(29日)
7月	子どもクラブ、夏休み学童保育、母との会	各種事業の実施、七夕行事(1日)子どもクラブ(1日)、始まりの会・草取り(28日)、朝食応援(27日)、自由研究(31日)
8月	母との会、子どもクラブ、夏休み学童保育、福祉会夏祭り、民生委員との交流会、盆前大掃除	各種事業の実施、おやつ作り(1,10)、習字の日(2日)、海へGO(3日)、ボイスチェンジャー作り(7日)、青空レストラン(8,24日)、水鉄砲遊び(9日)、朝食応援(14日)、子育て応援(16日)、映画の日(17日)、中高生限定映画館(18日)、夏まつり(21～23日)、おやつパーティ(25日)、遠足(28日)、母との会(30日)
9月	子どもクラブ、自然体験活動	各種事業の実施、自然体験活動(2,3日)、インターGH交流会～敬老の日～(18日)、子ども食堂&弁当配布(23日)
10月	子どもクラブ	各種事業の実施、土に親しむ会(1日)、子ども食堂(2日)、子育て応援(3日)、朝食応援(28日)
11月	子どもクラブ	各種事業の実施、子どもクラブ(4,12日)、バスケットボールコート開設式(17日)、朝食応援(19日)、ヌン活(19日)
12月	クリスマス会、子どもクラブ、餅つき、年末大掃除、冬休み学童保育、母との会	各種事業の実施、子どもクラブ(2日)、おかあさんといっしょ(3日)、朝食応援(3日)、母との会(文書配布・8日)、子育て応援(8日)、年末大掃除(16日)、クリスマス会(17日)、子ども食堂(17日)、施設20周年記念つながるイベント(17日)、民生児童委員さんとピザ作り(25日)、スターガーデン交流会(26日)、正月工作(27日)、餅つき(28日)、出前カニっこ館(28日)、年末運動会(29日)
令和6年 1月	冬休みの学童保育	各種事業の実施、書初め(4日)、中学生限定初詣遠足(4日)、小学生限定初詣遠足(5日)、朝食応援(13日)、ヌン活(13日)、おかあさんといっしょ(28日)
2月	節分、子どもクラブ、命の尊さを考える行事「灯そう会」	各種事業の実施、朝食応援(3日)、アフター恵方巻配布(4日)、子どもクラブ(3日)、子ども食堂(10日)、灯そう会(10日)、おかあさんといっしょ(18日)、子育て応援(22日)
3月	子どもクラブ、インターGH交流会、春休み学童保育、卒業を祝う会、民生委員との交流会、母との会	各種事業の実施、朝食応援(2日)、子どもクラブ(2日)、おかあさんといっしょ(3日)、母との会(19日)、卒業を祝う会(21日)、英語で遊ぼう(27日)、スポーツ大会(25日)、民生委員交流会(25日)、シェイクうどん作り(26日)、不審者対応訓練(27日)、ちびっこ忘年会(28日)